

〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2019年助成団体活動成果レポート

助成団体

八幡地区 地域づくり協議会

福島県河沼郡会津坂下町

プロジェクト名

八幡地区地域づくり協議会「つるし雛でひなまつり」



■地域の課題

いかに八幡地区に対する誇りと愛着を育て、自慢できる地区にしていくかが課題となっています。そのため、八幡地区の名所・史跡、飲食店等の魅力を内外にアピールして地域の活性化を図り、また、それを支える後継者の育成に取り組んでいます。

■当団体の紹介

2013年より開催している「つるし雛でひなまつり」をスケールアップして実施。同イベントを中核に、地域に存在する文化財や街並み、史跡等を一体的にとらえ発信することで、地域の活性化を図っています。





プロジェクトの概要

■背景・目的は？

- 実行委員を中心に八幡地区の方が協力・連携して開催する「つるし雛でひなまつり」の事業を通して、八幡地区に対する誇りと愛着を育て、自慢できる地区にしていきたいです。
- 「つるし雛でひなまつり」の事業を通して、八幡地区の名所・史跡、飲食店等の魅力（よさ）を地区内外に発信し、地域の活性化につなげていきたいです。
- 現在、12名でつるし雛の作品を制作している「おひさま倶楽部」の後継者を育成していきたいです。

■具体的な活動は？

〈令和元年度〉

- 令和2年2月25日（火）～3月3日（火）まで、8日間開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応を受けて2月25日（火）～2月27日（木）の3日間に期間を短縮して行いました。3日間の来場者人数は1,117名。「つるし雛でひなまつり」期間中のイベントは全て中止となりました。来場者の方は「こんなに素晴らしい作品なのに（期間短縮で）残念です。」という声が多かったです。
- 構想制作に1年かけた新作の「春の田植えの風景」をメインに、2会場を中心に展示を行いました。
- 「八幡地区おすすめグルメスポットサービスチケット」「八幡の名所、史跡マップ」「八幡の隠れた素敵な場所」のパンフレットを参加者に配布しました。また、会津坂下町観光物産協会でも、町内の飲食店が協賛した「会津坂下町おすすめグルメスポットサービスチケット」を作成し、配布しました。
- 地区内の企業による屋外プロジェクターでのPR、ふくしまFM、テレビ、新聞による情報発信を行うことができました。

〈令和2年度〉

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた2月の開催を延期し、旧暦のひな祭りの時期に3日間、開催しました。
 - 開催日時:令和3年4月11日（日）～4月13日（火）午前10時～午後3時まで
 - 開催場所:八幡コミュニティセンター※体育館を来場者の受付・待機場所とし、会場を3会場にするなどの密を防ぐ工夫と感染防止対策を徹底しました。
 - 来場者人数:241名（会津坂下町民限定、福祉関係などの各種団体は入場を遠慮して頂きました。）
- 構想制作に1年かけた新作の「秋の田園風景」をメインに3会場で展示を行いました。
- 八幡地区の名所、史跡等を紹介した「八幡地区ガイドブック」のパンフレットを作成し配布しました。
- 「見に来て良かった」「とてもすばらしいです」と、来場者の皆様からたくさんの喜びの声を頂きました。
- 新聞による情報発信をすることができました。また、ひなまつりの様子を「会津坂下町公式youtube」で配信し、町外の方にも見て頂けるようにしました。
- 3月に、町の保育所、幼稚園から展示依頼があり、コロナ禍の中での初の試みとして、2週間の出張展示を行いました。子供たちや保護者に大変好評でした。



見学に来た幼稚園児



子どもたちの作品



早乙女踊り



地区の方の生け花作品

■活動の成果は？

- 令和元年度に「八幡地区おすすめグルメスポットサービスチケット」「八幡の名所、史跡マップ」「八幡の隠れた素敵な場所」のパンフレット、令和2年度に「八幡地区のガイドブック」のパンフレットを作成し、「つるし雛でひなまつり」期間中に配布しました。八幡地区のグルメチケットは、つるし雛の観覧後にチケットを利用して昼食を食べに行くという声を多くいただき、協賛した店舗からも喜びの声を頂きました。地域活性化の一助になることを目指していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、3日間だけの配布になってしまいました。そのため、店舗の来客数の偏りが見られ、そのため、アンケート踏査では、10店舗中、効果があったと回答した店舗は、4店舗にとどまってしまいました。開催日数が少なかったのが残念でした。
- 準備、開催期間中、後片付けと実行委員会の方が一体となって協力して活動することができました。特に、コロナ禍の中でも無事に開催できたという喜びをみんなで味わうことができました。令和元年度は、地区内の企業の支援やメディアによるPR効果もあり、わずか3日間だけの開催でしたが、1,500人の来場者があり、地区内外の関心の高さがうかがわれました。
- 令和2年度は、旧暦の春の節句(4月)に延期しての開催でしたが、桜の花が満開の季節で好天にも恵まれ、例年と違うひなまつりを来場者とともに味わう事ができました。
- 各地区の区長に協力をいただき、「八幡の名所、史跡マップ」「八幡の隠れた素敵な場所」「八幡地区ガイドブック」を作成、配布したことは、地区の良さを再認識するよい機会になったと思われます。
- 作品製作を行う「おひさま倶楽部」の後継者として、「おひさま倶楽部Jr」が令和2年度に誕生しました。キッズクラブで子ども達が「つるし雛」に展示する作品を作成し・展示を行いました。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大している中、来場者の方が安心して見学できる環境を設定するために、感染防止のため体温計などの備品等を購入するなど、感染防止対策をしっかりと行うことができました。
- 令和2年度は、例年より会場を分散して開催したため、展示のための暗幕などの購入が多かったが、助成金のおかげで、購入することが出来ました。
- 助成金のおかげで「八幡地区おすすめグルメスポットサービスチケット」「八幡の名所、史跡マップ」「八幡の隠れた素敵な場所」のパンフレット、令和2年度に「八幡地区のガイドブック」のパンフレットを作成し、配布することができました。このことによって地域とのつながりが一層密になり地区の活性化の一助になったと考えます。



稲刈り（稲もすべて手作りです）



坂下初市・大俵引き



第3会場つるし雛



田植えを表現



団体からのコメント

八幡地区のガイドブック(パンフレット)を作製しましたが、今後、さらに改善し、地区内のウォーキング大会などの事業と関連させ、有効に活用できるようにしていきたいです。

今後もひな祭りで、八幡地区のみならず、会津坂下町をPRするよい機会として町と協力して行っていきたいです。

新型コロナウイルス感染防止のため、開催中のスタッフを多く確保する必要があり、(検温係、誘導係など)人員確保が課題です。

大きな作品を作る場合、材料費などで金銭的にも厳しい部分もあり、財務面でどのように捻出していくか、考えなくてはなりません。(入場料の設定など)

「つるし雛でひな祭り」をさらに発展、そして地域の活性化を図っていくために、地区民の作品展示、古民家での他地区、県外の作品の展示など、一層工夫・改善を図っていきたいです。

